

平成 30 年度事業計画

基本的な考え方

当財団は、熊本県の文化芸術の継承、創造、発信といった県内文化ホールの中核施設としての役割を果たすため、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（以下「劇場法」という。）を受けて熊本県が平成 26 年 4 月に定めた「熊本県立劇場運営方針」に基づき、質の高い文化事業の実施や専門的人材の確保等に取り組んできました。

特に平成 28 年度からは「熊本地震」により損傷を受けた施設の速やかな復旧に力を注ぐと共に、被災した方たちの「こころの復興」に資するため、これまで培ってきた人脈やネットワークを活かして、避難所や学校等に芸術家を派遣する「アートキャラバンくまもと」事業を実施してきました。

平成 30 年度は、演劇ホール舞台機構や両ホールの照明設備の計画改修が予定されています。また、平成 30 年度から指定管理者制度に移行する熊本市民会館の企画事業の一部を新たに受託することとなります。

さらに、「熊本県立劇場運営方針」に十分留意しながら、管理運営の基本方針として次の 4 点を掲げ、第 4 期指定管理事業計画の作成や熊本文化プログラムなどを実施してまいります。

1 こころの復興、共生の場としての劇場

震災以前の記憶にけん引されていく、県民の心の復興こそ、芸術や文化、音楽や演劇の出番が必要であり、県立劇場はその拠点としてこれまで以上に県民と寄り添う広場でありつづける「共生（共に生きる）の劇場」を目指します。

2 県内文化ホールの中核施設としての劇場

過疎や高齢化の只中にある地域とのネットワークを強め、地域に根付く伝承芸能の継承や掘り起し、普及啓発、職員研修、共同公演等による文化芸術の技術提供など、県内文化ホールの中核館として、さらに各館との連携を拡大し、熊本文化の全体的な向上に貢献します。

3 次代を担う世代を育成する劇場

熊本の未来を担う若い世代の文化・芸術クリエイターや、専門性の高いスタッフを育成するため、新たな県民参加の仕組みづくりを構築し、後進の育成に貢献できる場を提供します。

4 公の施設としての使命を果たす劇場

芸術文化の創造に積極的に関与し、県民が文化・芸術的な価値を享受できる環境を整備し、地域に密着した音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸などの実演芸術を提供するとともに、県民相互の交流やコミュニケーションに資することを目指します。

I 施設管理事業について

管理運営にあたっては、利用者が安全・清潔・快適で、親しまれ満足できる施設となれるよう、引き続き業務を効率的に執行しながら、熊本県の拠点施設としてふさわしい施設管理を行います。

特に、利用時の危機管理においては、催事本番中の大規模災害に備え、催事本番直前に劇場職員及び主催者間で協議・確認を行うことを継続することで、初動対応の迅速化を図り、出演者や鑑賞者の動揺を防ぐアナウンス対応や安全かつ迅速な避難誘導に努めるとともに、日頃からの訓練により、職員の危機管理能力の向上を図ります。

1 改修工事と催事運営

当劇場は、一昨年4月に発生した「平成28年熊本地震」により、施設に大きな損傷を受けましたが、13か月間に及ぶ開館しながらの本格復旧工事も今年3月中旬に終える予定です。

平成30年度は、建物の中・長期保全計画に基づき、平成30年2月から8月まで演劇ホールの舞台機構設備等の改修工事の着工と、平成31年2月から両ホールの照明設備の改修やコンサートホール絞り緞帳幕の改修工事が予定されています。このため、定例的な利用にできるだけ影響がないよう早目の情報提供を行い、県民の文化活動拠点としての役割が果たせるよう努めます。

2 利用者サービスの拡充

現在の貸館業務は、主催者が申し込みから本番までの催事内容や関連する手続き等をスムーズに進められるよう、催事ごとに専属担当者（コンシェルジュ）を配置する体制を基本としています。

平成30年度も、主催者及び来館者の安全・安心な利用とサービス向上につなげるため、以下の取組みを強化して行います。

(1) 広報活動強化

ターゲットの明確化、市場の現状把握等を通じて、広報ツールの抜本的見直しを図り、コミュニケーション戦略としての広報活動を企業戦略に組み込み、社会（人々）との接点作りを強化します。

(2) 危機管理能力向上

火災、地震、テロ対策訓練、救急救命・AED対応講習等を通じて、職員のスキルアップを図り、緊急時に適切かつ迅速な対応を可能とする体制作りに努めます。

(3) 顧客満足度向上

接遇マナーアップ研修、認知症対応研修等を通じて、職員のスキルアップを図り、幅広い来館者に対する質の高いサービス提供に努めます。

3 ホールの利用および使用料収納目標

平成 30 年度の利用可能日数は、平年ベースの平成 27 年度と比較するとコンサートホールで 26 日、演劇ホールで 127 日減少する見込みです。これは平成 30 年 4 月から平成 30 年 8 月にかけて行う演劇ホール舞台機構設備等の改修工事及び平成 31 年 2 月から平成 31 年 3 月にかけて行う両ホール照明設備の改修工事によるものです。入場者数は、平成 27 年度と比較して 15 万人減少の見込みです。

使用料の収納額は、設備使用料、駐車場使用料ともに平成 27 年度と比較して 8 割程度となる見込みです。

平成 30 年度については、建物の中・長期計画に基づく改修工事が行われるため、利用可能日数が減少しますが、平成 31 年度に向けて、県内全域の企業、文化団体、教育・福祉団体等への直接訪問による新規利用者の獲得に努めると共に、過去の利用状況を分析し定期的にご利用のある団体への連絡により、さらなる囲い込みの強化を図ります。また、利用者アンケート調査等で得られた施設・設備やスタッフに対する要望に可能な限り応え、迅速且つ丁寧な対応に努めます。

項目		目標
コンサートホール利用率 (※)		73%
演劇ホール利用率 (※)		81%
入場者数		339,000 人
使用料収納額	設備使用料	122,495,000 円
	駐車場使用料	56,137,000 円

(※第三期指定管理事業計画より)

県民の文化の振興に必要な業務

1 事業実施方針

熊本県立劇場では、熊本県の文化振興施策を実現するため、熊本県と協議しながら県内公立ホールや熊本県文化協会等と連携し、これまで35年間にわたりさまざまな文化事業に取り組んできました。

平成30年度は、これまで県民に提供してきた高い水準の創造的な芸術性に富む音楽や演劇などの「A. 芸術文化の創造拠点としての取り組み」と、「B. 芸術文化の普及拠点としての取り組み」に加えて、〈アートキャラバンくまもと〉など、熊本地震からのこころの復興につながる共生（共に生きる）の広場としての取り組みを進めます。

さらに、平成29年5月、熊本県と熊本市が「熊本県と熊本市との連携による文化芸術の振興に関する覚書」を締結しました。これを受け、平成30年4月から熊本市民会館の指定管理者となる（一財）熊本市社会教育振興事業団より指定管理業務の一部（自主事業業務）を受託することから、「熊本市民会館事業」を新たに追加し、指定管理者である同事業団と協力・連携して事業を実施します。

2 個別事業コンセプト

「平成28年熊本地震」による指定管理期間の2年間延長が決定された中、従来の理念を継承・発展しつつ、平成30年度においても県の方針に則り次の5つの柱をもとに取り組めます。

A 創造拠点として取り組む事業

- ①《創り育む》 舞台芸術を創造するための人材育成や文化団体の活動支援
- ②《広げる》 地域の公立ホールと連携し、県内全域での鑑賞機会提供
- ③《伝える》 伝統芸能の継承・発展と活動支援

B 普及拠点として取り組む事業

- ①《楽しむ》 民間では実現が困難な舞台芸術の鑑賞機会の提供
- ②《出会う》 芸術文化に触れる機会の提供

また、熊本市民会館文化企画事業の企画運営においては、以下の事業体系に基づき立案、実施します。

- ①芸術文化鑑賞機会拡大事業
- ②地域文化創造事業
- ③街なかの賑わい創出事業

文化事業の入場者及び参加者数は、平成30年度においては41,400人を目標とします。

(1) 県受託事業

A 芸術文化の創造拠点として取り組む事業

① 《創り育む》

熊本県立劇場が本県文化創造の拠点施設として、県民や文化団体の活動を育成・支援するため、以下の事業に取り組みます。

期日	会場	事業名	目標入場者(人)
8月23日(木)	演劇ホール	行くぜ！劇場探検隊	60
平成29年度に続き、児童を対象とした劇場バックステージツアーを実施。普段なかなか見ない舞台裏を親子で見学することで劇場や舞台芸術への興味を持ってもらう。文化庁助成申請中。			
9月2日(日)	演劇ホール	第60回熊本県芸術文化祭オープニングステージ 「邦楽」	1,100
音楽監督に邦楽演奏家の藤原道山を迎え実施。邦楽の魅力の一部の愛好者だけでなく、多くの県民に知ってもらい親しんでもらえるよう、従来の邦楽の概念を超えた魅力を伝える。出演は藤原道山(尺八)ほか、日本を代表する演奏家と地元邦楽演奏家等。文化庁助成申請中。			
H31. 2月3日(日)	演劇ホール	共同制作オペラ モーツァルト歌劇 「ドン・ジョヴァンニ」	900
東京芸術劇場を幹事館として、富山オーバードホール、県立劇場の3館でオペラを共同制作する。27年度の野田秀樹演出「フィガロの結婚」に続き、2回目の参加。森山開次演出、井上道義指揮で制作。管弦楽は九州交響楽団。文化庁助成申請中。			
H31. 3月15～17日	コンサートホール他	東京藝術大学音楽学部 「早期教育プロジェクト」	1,000
県内や九州圏内の小中学生を対象に、東京藝術大学の講師陣による日本最高峰の公開グループレッスン(ヴァイオリン、管楽器・打楽器)を実施する。東京藝術大学音楽学部との連携事業。文化庁助成申請中。			
通年	大会議室他	県劇ゼミ	150
平成28年度からの継続事業として、公立文化ホール職員や県内の実演芸術団体の養成を目的に、「著作権講座」、「フロント業務」について学ぶほか、公共ホールにおける障がい者や高齢者、外国人向けのバリアフリー対応について専門家を招き講座を実施する。文化庁助成申請中。			

4～6月頃	熊本保健科学大学	「老いと演劇」から介護現場のコミュニケーションを学ぶ	100
平成 26 年度から熊本保健科学大学と取り組んでいる社会包摂事業。平成 30 年度は高齢社会に向け、演劇ワークショップを通して心身や生活困難者を支える対人援助育成のための研修会を実施する。文化庁助成申請中。			
通年	熊本市現代美術館ほか	オハイエくまもと事業	1,000
「オハイエくまもと とっておきの音楽祭」への協力。オハイエ音楽隊を指導する講師（演奏家）を派遣するほか、熊本市現代美術館を会場とするコンサートの制作・運営を担う。			
通年	熊本県内	文化芸術による子供の育成事業	600
平成 22 年度から文科省の委託事業として実施。児童・生徒に対し芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等の実技指導を行うことにより、コミュニケーション能力の育成を図る。文科省委託事業予定。			
通年	コンサートホール 演劇ホール	文化活動支援事業	4,000
熊本県内で活動する文化団体に、熊本県立劇場での発表の機会を提供することにより、文化団体の育成・発展を図るとともに、県民への舞台鑑賞の機会を提供するための支援を行う。 6 団体採択。（下記一覧表参照）			

[文化活動支援事業一覧（6 団体）]

期日	会場	事業名	主催者
5月5日 （土・祝）	コンサートホール	第30回熊本ウインドオーケストラ 定期演奏会	熊本ウインドオーケストラ
5月20日 （日）	コンサートホール	第105回熊本交響楽団定期演奏会	熊本交響楽団
10月14日 （日）	コンサートホール	ザ・シンフォニエッタ 第31回定期演奏会	ザ・シンフォニエッタ （オーケストラ）
10月21日 （日）	コンサートホール	熊本マンドリン協会 第50回記念定期演奏会	熊本マンドリン協会
11月11日 （日）	演劇ホール	くまもと 2018 第31回箏曲の祭典	熊本箏演奏者協会
12月22日 （土）	演劇ホール	琉球國祭り太鼓熊本支部 15周年記念公演	琉球國祭り太鼓熊本支部

期日	会場	事業名	目標入場者(人)
4月16日(月)	コンサートホール	第2回熊本地震復興祈念演奏会(名義共催)	1,200
平成29年4月14日に開催したマーラーの「復活」に続き、ベートーヴェンの「第九」で熊本の未来につなげるコンサートを開催。くまもと音楽復興支援100人委員会主催。			
11月4日(日)	コンサートホール	熊本県新人演奏会(名義共催)	800
音楽を志して活動している熊本県出身もしくは在住の才能ある若手演奏家を紹介し、その活動の伸展の契機とする演奏会。熊本会ほかの主催。			
12月23日(日)	コンサートホール	熊本県民第九の会 ベートーヴェン「第九」(名義共催)	1,100
熊本県立劇場開館以来、広く県民から公募して続けている熊本県民第九の会によるベートーヴェン「第九」の演奏会を共催で実施する。熊本県民第九の会ほかの主催。			

②《広げる》

熊本地震を受け、熊本県立劇場が進めるこころの復興推進事業「アートキャラバンくまもと」のほか、熊本県の中核的な文化ホールとして県内公立文化ホール等と連携し、県内各地域における舞台芸術の普及を図るため、以下の事業に取り組みます。

期日	会場	事業名	目標入場者(人)
通年	熊本県立劇場 熊本県内	アートキャラバンくまもと	3,850
熊本地震後、被災者や子どもたちの心の復興をアートで支援することを目的に、継続事業として実施。「吉永小百合・村治佳織・姜館長トーク&コンサート」、「くまモン&キネコ映画祭」、「サントリーみんなのまちのコンサート」等行う。事業費は寄附金を充当するほか、文化庁助成申請中。			
9月22日(土)	山鹿市	日露交歓コンサート	500
チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院の准教授や卒業生を招聘し、地方公共団体の共催・助成を得て実施するコンサート。公益社団法人国際音楽交流協会主催。			
8~12月	熊本県内 (3ヶ所程度)	文化プログラム推進事業 地域伝承芸能公演	1,000
女子ハンドボール、ラグビーの国際スポーツ大会のプレ大会開催時に、ファンゾーンステージを使い、伝承芸能を披露する文化イベントを実施する。			

未定	熊本県内 (2ヶ所程度)	文化プログラム推進事業 熊本キャラバン	200
平成 29 年度に実施した「東京キャラバン in 熊本」でのネットワークやノウハウを生かし、国内外で活躍するアーティストが県内各地域に出かけ、ワークショップやパフォーマンスを実施する。			

期日	会場	出演団体 (ジャンル)	目標入場者(人)
ネットワーク事業 県内外の文化団体やプロの芸術団体による公演を、県内市町村や公立文化ホールと連携し、経費や役割を分担して実施する。文化庁助成申請中。			
1	5月31日(木)	菊池市泗水ホール (菊池市)	2,500
2	6月3日(日)	牛深総合センター (天草市牛深町)	
3	9月30日(日)	美里町交流センター ひびき (美里町)	
4	10月9日(火)	水俣市文化会館 (水俣市)	
5	10月14日(日)	あさぎり町須恵文化 ホール (あさぎり町)	
6	H31.1月5日(土)	天草市民センター (天草市)	
7	H31.1月6日(日)	ながす未来館 (長洲町)	
			林家たい平 (落語)
			三遊亭好楽 (落語)
			野村万禄 (狂言)
			林家たい平 (落語)
			熊本交響楽団 (管弦楽)
			絵本のじかんだよ (朗読)

期日	会場	事業名	目標入場者(人)
通年	熊本県内	公立文化ホール支援事業	40
県内公立文化ホール職員を対象とした「熊公文協自主文化事業研修会」の企画・実施、公立文化ホールが主催する事業への特殊部品の貸し出し、情報発信、ノウハウ提供、研修会等への講師派遣等さまざまな支援を行う。			

③ 《伝える》

世代を超え、地域社会のコミュニティ形成に大きな役割を果たしてきた伝統芸能や日本の伝統文化を継承し発展させるため、以下の事業に取り組みます。

期日	会場	事業名	目標入場者(人)
8月14日(火)	演劇ホール	県劇盆踊り	1,000
劇場が開かれた場(広場)であり、地域の方たちが気軽に立ち寄る集いの場にしようと企画。囃子方の美鵬直三郎による演奏のほか、飲食ブースの出店を行う。			
11月2日(金)	演劇ホール	現代能楽集「竹取」	500
日本最古の文学とされる「竹取物語」を題材とした、狂言師・野村萬斎監修、小野寺修二演出の新作舞台。地域創造と文化庁の助成申請中。			
通年	県内各地	伝承芸能発信事業	—
地域の伝統芸能の掘り起こし。			
通年		創造拠点新規企画事業	—
次年度以降の創造拠点事業の企画・調査を行う。			

B 芸術文化の普及拠点として取組む事業

① 《楽しむ》

音楽と演劇の専門ホールを持つ熊本県立劇場の特性を活かし、民間では実現が困難な質の高い舞台芸術公演等の鑑賞機会を提供するため、以下の事業に取り組みます。

期日	会場	事業名	目標入場者(人)
5月13日(日)	コンサートホール	佐渡裕指揮トーンキュンストラ管弦楽団	1,700
世界的指揮者の佐渡裕氏と、彼が音楽監督を務めるウィーンのトーンキュンストラ管弦楽団公演による日本ツアーの一環。文化庁助成申請中。			

9月21, 22日	演劇ホール	不思議の国のアリス	450
<p>KAAT 神奈川芸術劇場制作のキッズプログラム。3公演実施予定。NHK「からだであそぼ」などで子どもたちに人気のダンサー・振付家の森山開次が、名作「不思議の国のアリス」をモチーフに、子どももおとなも魅了するダンス作品。文化庁助成申請中。</p>			
H. 31 3月14日(木)	コンサートホール	クリスチャン・ツィメルマン ピアノリサイタル	1,700
<p>カラヤンやバーンスタイン、小澤征爾といった巨匠指揮者を魅了した、現代最高のピアニストのひとり、ツィメルマンによるリサイタル。鶴屋百貨店と共催で実施。</p>			
7月12日(木)	コンサートホール	NHK 交響楽団熊本公演 (名義共催)	1,500
<p>4年に1度巡回するNHK交響楽団の九州ツアー。 主催：NHK 熊本放送局</p>			
9月20日(木)	コンサートホール	アリス=紗良・オット ピアノリサイタル (名義共催)	1,300
<p>28年9月に実施し好評を博したピアニスト・アリス=紗良・オットによるリサイタル。 主催：KAB 熊本朝日放送。</p>			

②《出会う》

熊本県立劇場が「共生（共に生きる）の広場」としての役割を果たすほか、劇場以外の場所で、多くの子どもたちが芸術文化に触れる機会を提供するため、以下の事業に取り組みます。

期日	会場	事業名	目標入場者(人)
通年	御船町 あさぎり町他	演奏家派遣アウトリーチ事業	700
地域においてクラシック音楽を身近なものとするため、公共ホールや学校等にアーティストを派遣し、開催市町村と共催で演奏会や出前授業等を実施する。ホールまで直接足を運ぶ機会の少ない方々のもとへ演奏家が出向き、鑑賞機会を作ることで鑑賞者の拡大につなげる。文化庁助成申請中。			
1	7月	御船町	熊本県立劇場 登録アーティスト・協力アーティスト (ヴァイオリン/緒方愛子、コントラバス/亀子政孝 サクソ/山崎明、村田貴洋、西口新一郎 ピアノ/山本亜矢子)
2	10月	あさぎり町	
3	H31.2月	益城町	
通年	熊本県内	ぴっころシート事業	100
企業からの協賛金を元に公演チケットを購入し、児童養護施設などの子どもたちや熊本地震で被災した子どもたちを招待する事業。			
通年		普及拠点新規企画事業	—
来年度以降の普及拠点事業の企画・調査を行う。			

(2) 熊本市民会館受託事業

期日	会場	事業名	目標入場者(人)
4月7日(土)	市民会館	トークセッション 「文化の力 ～アートが街をつくる～」	1,300
県立劇場の姜館長と大西熊本市長によるトークセッション。舞台芸術振興に関して熊本県と熊本市の連携が本格的にスタートすることを記念するキックオフイベントと位置付け、文化における連携について考える。文化庁助成申請中。			
8月18日(土)	市民会館	アラジンと魔法のランプ	1,200
「アラジンと魔法のランプ」の冒険劇を見ながら、声楽家の歌やオーケストラ演奏を楽しめる芝居仕立ての本格的コンサート。夏休みのファミリー向けコンサートとして実施。文化庁助成申請中。			
12月15日(土)	市民会館	KUMAMOTO JAZZ 2018	1,100
平成29年度からスタートしたジャズ企画。30年度はジャズピアニストの山下洋輔率いる「山下洋輔スペシャル・ビッグバンド」の公演を実施する。文化庁助成申請中。			
H31. 1月23～25日	市民会館	魔法を捨てたマジョリン	6,000
市民会館がこれまで継続してきた小学生の無料招待公演を引き継いで実施する。4～5公演を予定。 制作・企画：劇団四季			
H31. 1月31日(木)	市民会館	エリサと白鳥の王子たち	2,600
小学生の無料招待公演。アンデルセンの名作童話を、ダンスと人形劇のコラボレーションで舞台化。ニッセイ文化振興財団より復興支援として無料公演を打診されたため、2公演実施する。			
通年	熊本市内	文化芸術による子供の育成事業	50
児童・生徒に対し芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等の実技指導を行うことにより、コミュニケーション能力の育成を図る。実施にあたっては、熊本市教育委員会を通して募集。文科省委託事業予定。			
通年	熊本市内	アートキャラバンくまもと	100
平成28年熊本地震後、被災者や子どもたちの心の復興をアートで支援することを目的に、熊本市内においておでかけ公演やワークショップを実施する。			
通年		市民会館新規企画事業	—
次年度以降の市民会館事業の企画・調査を行う。			